

平成26年度 学校通信  
1月号の2  
1月19日発行

# 成文

尼崎市立成文小学校  
校長 廣井 尋美  
TEL 06-6418-2361

ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.htm>

校長 廣井 尋美



## 語り継ごう、阪神淡路大震災 ～阪神淡路大震災から20年～

1月16日（金）、地震とそれに伴う津波・引き渡し訓練を実施しました。

引き渡し訓練には、たくさんの保護者の方々がご参加下さいました。ありがとうございました。今年度も、昨年度に引き続き、津波対応として、より広く安心な建物であるお隣りの県立尼崎西高等学校の4階に避難させて頂きました。西高生徒会の皆さんが、成文小学校の子ども達に優しく声をかけたり、並ぶよう指示を出したりしてくれました。

命を守るため、いざという時のための大切な訓練の時間になったと思います。

訓練では、こんなお話をしました。

「20年前の今日、1月17日は阪神・淡路大震災が起こった日です。朝5時46分のことです。淡路島北部を震源地とした阪神・淡路大震災。皆さんは、まだ、生まれていませんね。

20年です。その年に生まれた人たちが、成人式を迎える年になりました。

私は（校長先生は）20年前の1月17日朝5時46分、台所で、息子の誠君のお弁当を作っているところでしたよ。ドンというたてゆれで、びっくりして身体が硬直して、浮かび上がった感じでした。次に大きく横にゆれました。そして、すぐ停電、電気が消えてしまいました。まだ真っ暗な中で、生まれて初めて体験する不気味な時間でした。

後でわかったことですが、もうその時、神戸から尼崎まで、家やビルがつぶれて、その下敷きになってたくさんの方が亡くなられていました。

そのときの様子、その時の映像、今もはっきり覚えています。

そして、4年前の3月11日 昼の2時46分の東日本大震災。こんなに離れた尼崎でもゆれがありました。

地震の後、津波が町を村を、そして、車や人を飲み込んでいく映像を何度も目にしました。覚えている人も多いと思います。

先ほど12時に、震災で亡くなられた方々のことをおもい、ご冥福を祈るために、黙祷をしましたね。

阪神・淡路大震災では、地震で、建物が一瞬にしてねじれ・つぶれ、ぺしゃんこにへしゃげ、そして、道路がちぎれました。

東日本大震災では、地震とそれに伴って発生した津波、その後の余震。同じ地震でも、全く違いました。

だからこそ、いろいろ考えて、訓練をする必要があるのです。

今日もいつもと同じように、自分の命を守るための大切な訓練の時間です。

今日は、より広い尼崎西高等学校への避難でした。そして、今回は、半分の皆さんが、校庭から校庭へつながる通路を使って避難しました。

訓練だからとふざけずに、いかに真剣に取り組むかが、いざという時に役に立つのです。この後の、引き渡し訓練も、本当に津波がやってきたと考えて、真剣に取り組みましょう。」

地震がおさまったので、運動場に避難しています。



全員無事に、運動場に避難しました。



尼崎西高等学校北棟の4階に避難しました。

津波がやってくる恐れがあるので、校庭北側の尼崎西高等学校につながる非常口から避難しています。  
(児童の半数)

